

平成29年度 南魚沼市地域包括ケア連絡協議会 ワーキングチーム活動報告

	大和地域ワーキングチーム	六日町地域ワーキングチーム	塩沢地域ワーキングチーム
メンバー	認知症対応型介護雪椿の里デイサービスセンター デイサービスセンター なの里あいあい 大和地域包括支援センター	介護付有料老人ホーム悠々の杜 グループホーム悠々の杜 南魚沼市社会福祉協議会居宅介護支援事業所 坂戸レジデンス 坂戸楽生園 南魚沼市社会福祉協議会 市役所保健課 市地域包括支援センター	目来田・中地域にて、「認知症あんしん地域ネットワーク事業」を実施するので、ワーキング事業と合同で実施。 ゆきあかり診療所 小規模多機能介護センター大空の家 塩沢地域包括支援センター
会議	9月26日(火) 大和庁舎会議室 10月25日(水)予定 大和庁舎会議室	8月1日(火) 市役所大会議室	
会議内容	地域の住民向け出前講座の実施 ・講座内容の検討、地域の介護サービス事業所として住民に何が伝えたいか何を伝えるか  ※研修会は大崎地域づくり協議会との共催事業として実施し、チラシ印刷及び配布は大崎地域づくり協議会事務局が担当	会の趣旨及び昨年の活動について説明 今年度の事業計画について説明 坂戸地区での地域ぐるみの支えあい、地域づくりのための話し合い ・坂戸にある事業所としてみた場合の、坂戸地区とは、あるいは地域とのつながりについて、地域の介護サービス事業所の現状を報告 ・内容及び進行の打ち合わせ	ワーキングメンバーを参集しての会議は行っていない。 高橋先生と南雲管理者に対し、中・目来田で今年度認知症あんしん地域ネットワークづくりの一環で、認知症予防から実際の認知症対応・捜索訓練までシリーズで展開している事業について説明し、協力をお願いした。
講座等	11月10日(金) 19:00～ 大崎農業会館	8月29日(火)坂戸公民館	9月4日(月) 19:00～21:00 中公民館 共楽舎
テーマ	「介護の現場から聞く認知症ケアの実態」 ～大崎にある介護サービス事業所から話を聞きましょう～	住み慣れた地域で暮らし続けるための話し合い ～誰もが生き生きと健やかに暮らせる地域を目指して～	「中・目来田認知症あんしん地域ネットワークについての地域説明会」 ～認知症にやさしい地域づくりを通して、地域包括ケアと地域共生社会の実現を～
ねらい	地元介護サービス事業所と地区住民の顔の見える関係づくりにつながる事業の実施	①地域住民や地域の介護関係者が、地域の高齢者・介護・健康の実態について知り、地域の課題について理解できる。 ②地域住民同士、または地域の関係者がお互いを理解し、顔の見える関係を作る。	地域ぐるみで認知症の人の徘徊対応などの体験を通して、住民一人一人が認知症の人を取り巻く課題の理解を深め、認知症になっても暮らせる地域づくりを住民自らが構築していくプロセスの支援を協同活動で行う。
内容	1、認知症の予防と南魚沼市の状況 2、地域の介護サービス事業所の紹介と認知症ケアの取り組み紹介 3、意見交換会 グループに分かれ、感想など話し合う	1、南魚沼市、坂戸の人口や高齢化、住民健診結果に伴う実態報告 2、地域の介護保険施設の報告と住民の皆さんに伝えたいこと 3、報告を受けて、意見交換 ・坂戸はどんな地域？ ・気になっていること、どんなことがあればもっと住みやすい？ 4、この会の継続について	1、市の認知症高齢者をとりまく現状と課題、取り組みについて 2、認知症について ゆきあかり診療所より講義と話し合い 3、認知症徘徊の寸劇を見てもらい、地域の皆さんから意見をいただく。 4、認知症に対する考えや取り組み状況の意見交換 警察署生活安全課と小規模多機能介護センターより意見をいただく。 5、10/29の認知症捜索模擬訓練の実施について説明とPR(荒天のため中止)
参加者数	21人	24人(老人クラブ、筋力づくりサポーター、友愛訪問員、健康推進員、食生活推進員、ふれあいサロン代表者、行政区長)	37人
まとめ 今後の課題	地域の事業所の取組の内容が理解され、地域の人が地域にある施設としてより興味を持ってもらえた。認知症予防のための地域全体の取組についての意見も出ていた。 ＜地域の皆さんの意見＞ ・認知症の予防と現状については、全員が大変参考になったと答えており、自分自身も体をよく動かして健康でいたい。・寸劇などで認知症予防を勉強するのも盛り上がるのでは？・良い経験になったので次回も行ってほしい。・高齢化が進む中、地域全体で取り組みが大切だと感じました。との声が聞かれた。 ・地域のサービス事業所の紹介では、地域に施設があることはわかっているが、事業の内容について初めて知ったという意見が半数以上から聞かれた。また・施設の職員の苦労がわかった。・実際に施設を見学してみたい。・特色を出してやっていて素晴らしいと思う。・働く場として充実して欲しい。などの意見が聞かれた。	＜地域の皆さんの意見＞ ・坂戸地区はサロンも友愛訪問員活動も充実している。 ・町場に近く、利便性が高い。・ごみごみしていない。いいところ。 ・地域に商店・金融機関はなく、自分で動けるうちはいいが、元気でなかったり、運転ができなくなると不安になってくる。 ・消雪が難しいところがあり、除雪が大変なところもある。 ・今生活している坂戸地区はいいが、将来的に心配なところも出てきた。坂戸地区のことを考えるために地区の人、施設の人、一緒に考えられるといい。 11月1日19:00～区役員会に出席し、8/29の内容について報告し区としての意見を伺った。その結果、自分たちの地域の生活・健康課題を探るため、区と共同でアンケートを実施。結果を報告し、住民に周知。次年度に検討を引き継ぎ、話し合いを継続することになった。 12月15日～1月15日 地域づくりアンケート実施(坂戸20歳以上928人) 回収人数 293(率31.6%) 回収世帯数 156(回収率31.9%) 3月1日19:00～区役員会に出席し、アンケート結果報告 4月1日広報と一緒に結果を配布予定。(区が報告書を作成)	＜地域の皆さんの意見＞ ・認知症徘徊の様子があつたら知っている人なら家の人に伝える。一緒に行動する。・話を聞いてみる。昔の話が出てきたら一緒に聞く。・本人に拒否されたらどうしたらいいのか。 ・認知症を抱える家族の方から行きそうな場所など近所の人にあらかじめ伝えておくことも大事ではないか。・若い人は日中地域にいないので高齢者の集まりなどのネットワークで話題にするのがいいのでは。 ＜立場の違う方の意見＞ ～大空の家～ ・対応はどれも正解。拒否される場合は本人が混乱している。表情が柔らかいほうが履いても受け入れやすい。中・目来田地域に介護施設があることを思い出して連絡してほしい。 ～生活安全課～ ・地域のネットワークが構築されていることが分かった。 ・認知症の方の発見は難しい。早期発見が重要で命にかかわる。 ・身内で探そうとしてしまうので早めに警察に相談することが重要。 ・地域の安全安心は地域のネットワークづくりが大事。